

# 平成21年度 当初予算

## 一般会計 165億9千万円 (前年比マイナス16%)

### 将来に向けた発展の基礎を築く予算編成

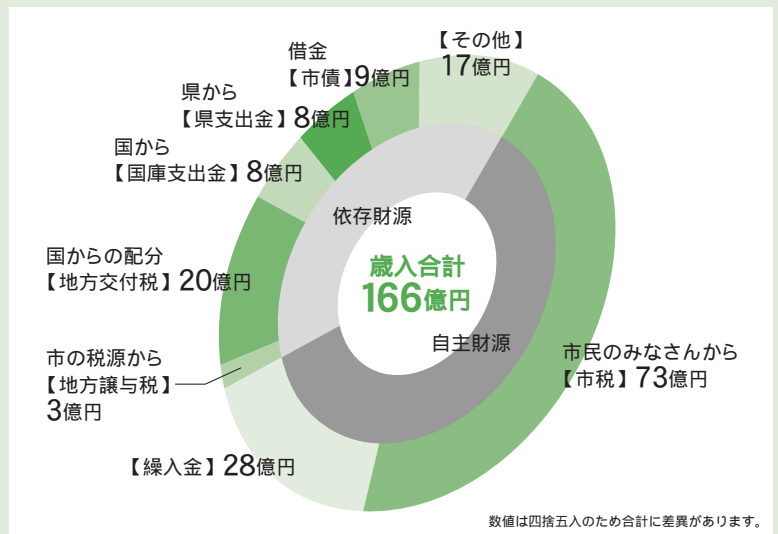
世界的な経済危機の大波を受け、いなべ市の税収も大幅な減収が見込まれています。

本年度の当初予算は、職員人件費などに加え、施設や補助金の経費削減にも踏み込みました。合併以来、類似団体（似た産業構造や人口の市）を大きく超えていた予算規模は、類似団体のほぼ平均の約166億円となりました。

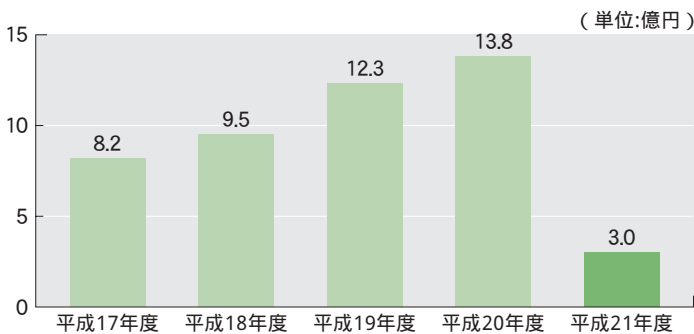
本年度は大きな事業に取りかかることはできませんが、事業を見直し捻出した財源で、地域力を高め、福祉のまちづくり・教育のまちづくりを進める施策に重点配分し、市民のみなさんが希望をもって、この危機を乗り越えていけるような予算としました。

## 歳入

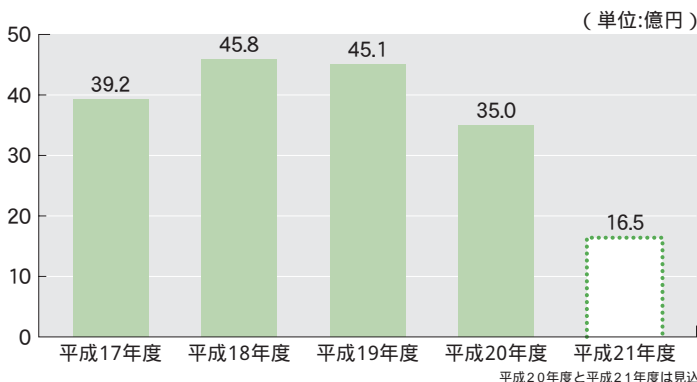
経済危機により法人市民税は前年度比78%（約11億円）の大幅な減収が見込まれます。このため、市税全体では前年度比14%（約12億円）減の73億円としています。自動車関連企業の業績不振が続くことが予測され、厳しい財政状況となっています。



【法人税収入当初予算の推移】



【財政調整基金残高】



## 自主財源

地方公共団体が自主的に収入する財源です。

## 依存財源

国、県から交付されたり、割り当てられたりする収入です。

## 財政調整基金

右肩上がりの経済の中では、予算で計上した以上の税収入を財政調整基金に積み立て、不測の経済変動に備えるとともに翌年度の新たな投資の財源ともなってきました。しかし、景気が反転したことで、急速に残高が減少し始め、平成20年度末では前年度比約10億円減の35億円となりました。さらに平成21年度末には、大幅に減少する可能性があります。

# 歳出

全ての分野で事業の絞り込みと経費節減を図りながら、福祉や教育に重点的に配分し、選択と集中をすすめました。

## 主な科目の内容

### 総務費

庁舎、広報、徴税、戸籍などに必要な経費です。施設管理費の節約などで前年度比6.0%の減としています。

### 土木費

道路、河川、砂防、都市計画、公営住宅などに必要な経費です。国補助事業の事業費の減少などにより16.3%の減としています。

### 民生費

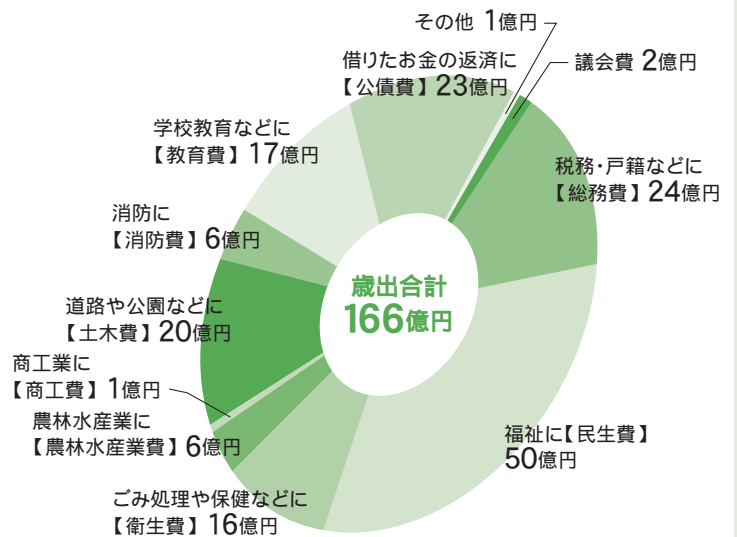
障がい者、高齢者、児童などの福祉や、健康に必要な経費です。丹生川保育園などが完成したため14.5%の減としています。発達障がい児を支えるチャイルドサポート、子育てを支援するブック・Reスタート、災害時の緊急医療体制整備など、福祉施策に重点的に取り組みます。

### 教育費

学校、スポーツ施設、公民館、図書館などに必要な経費です。大安学校給食センターの完成などで43.1%の減としています。全ての小学校で外国人英語指導の拡充や、小中学校の先生に1人1台パソコンを配備するなど、教育施策に重点的に取り組みます。

### 公債費

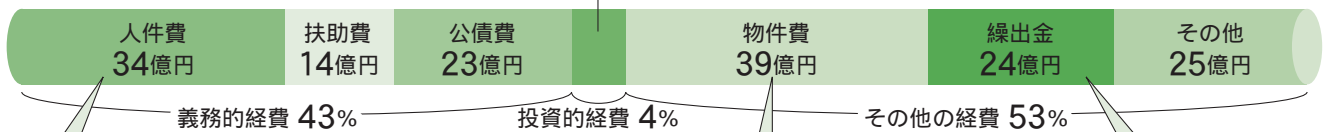
事業を実施するために借りた借金を返済する費用です。高金利の借金を早期返済し、借金の総額も減ってきたため10.2%の減としています。



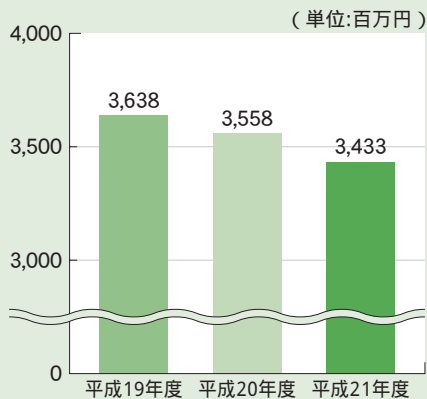
数値は四捨五入のため合計に差異があります。

## 普通建設事業費 7億円

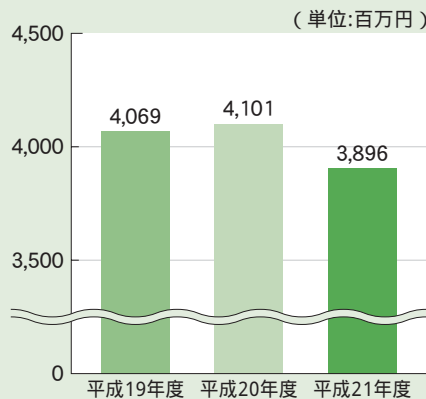
数値は四捨五入のため合計に差異があります。



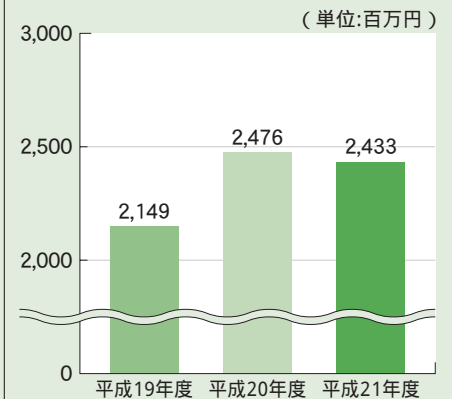
### 【人件費当初予算の推移】



### 【物件費当初予算の推移】



### 【繰出金当初予算の推移】



## 主な性質別の内容

### 人件費 (3.5%減)

職員手当などの見直しや採用の抑制により、約1億2千万円の減としました。

### 投資的経費 (78.4%減)

保育園等の建設が一段落し、員弁西小学校や生活道路網整備などの継続事業を中心としたため、約26億円の減としました。

### 物件費 (5.0%減)

賃金、旅費、光熱水費、委託料、使用料など施設管理費の節減やイベントの見直しなどにより、約2億円の減としました。

### 繰出金 (1.7%減)

国民健康保険事業や下水道事業など、特別会計への繰出金を約4千万円の減としましたが、約24億円と高い水準が続いています。